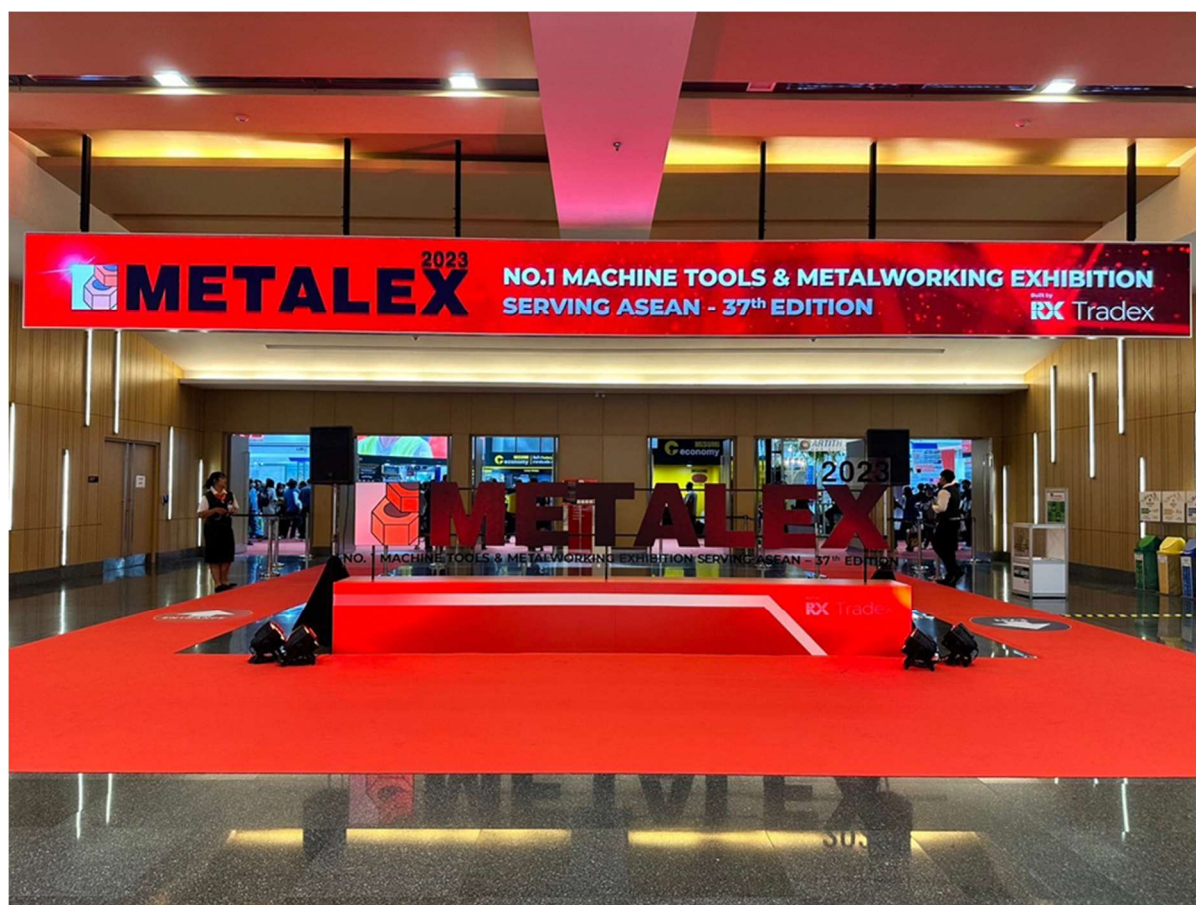


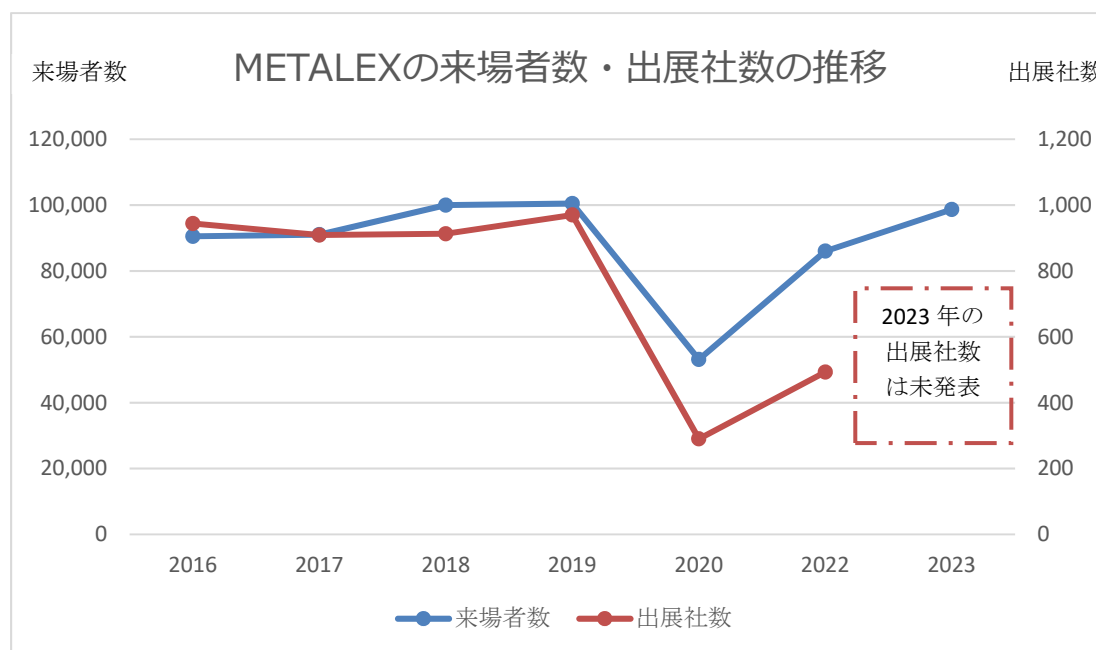
METALEX 2023

～コロナからの回復基調が見えた ASEAN 最大規模の製造業展示会～



こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

ASEAN 域内で最大の自動車生産台数を誇るタイは、域内でも屈指の工業国であり、多くの日系企業が進出している集積地でもあります。そんなタイで開催される METALEX は、ASEAN 最大規模の工作機械・金属加工技術関連の展示会であり、毎回多くの出展社・来場者でにぎわいます。37 回目となる今年（2023 年）は 11 月 22 日～25 日の日程で開催されました。2019 年の開催時には初めて 10 万人を超す来場者を記録しましたが、翌年 2020 年はコロナの影響により規模を縮小しての開催、2021 年は中止となっていました。コロナによる規制が解除されてから初めての開催となった昨年の入場者数は 2020 年と比べて少し回復しましたが、コロナ前の水準まではまだ届かず、出展社数もコロナ前の半分程度に留まりました。



コロナ禍に進んだ「ニューノーマル（新常态）」の流れの中で、展示会もバーチャルで開催されるようになり、METALEXにおいても今後はリアル開催の規模が縮小してしまうのではないかと筆者は心配しましたが、今年（2023年）の入場者数は98,686人とわずかに10万人には届かなかったものの、コロナ前の水準まで回復しました。出展社数についてはまだ主催者から発表がないものの、展示スペースが昨年より拡大されてもなおホール内に収まりきらず、会場外の通路スペースにもブースが設置されるほどの盛況ぶりでした。



通路まで拡大された展示スペース

日系企業の出展は、JETROパビリオンに30社が参加した他、東京都中小企業振興公社（12社）、長野県パビリオン（4社）、群馬県高崎市パビリオン（13社）など、計174社が出展しました。日本以外では中国、台湾、韓国などの各国のパビリオンが目立っていました。特に中国の企業は中国本土からの出展よりも、在タイや在ベトナムの中国企業としての出展が数多く見られました。

37回目となる今回のMETALEXでは「The Innovators」というテーマが掲げられ、現代において競争力を生み出すために、各事業者に対して革新的な技術を追い求める姿勢が求められています。タイ工業省のナタポン次官は、今後もサプライチェーン全体で効率的な生産体制を確保するため、自動機械やロボットの導入、リアルタイムで生産管理をするデジタル技術の導入などを促進していく方針を明らかにしました。そして、METALEX2023がすべての出展社、来場者にとってチャンスとなり、この場で展示

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2023年12月

された技術、知識を活かすことによりタイの製造業がより発展することを確信する、と述べました。また、会期中には会場内で41の様々なテーマによるセミナーやフォーラムが開催され、AIやIoTの活用や脱炭素、エネルギー使用の削減門内などについて活発に意見交換が行われました。

コロナショックから3年を掛けてコロナ前の開催規模まで回復したMETALEX、来年(2024年)の日程は11月20日~23日の4日間と発表されました。来年は今年を上回る規模で開催されるのでしょうか?気になるところです。

当ビューローでは、タイ・ASEAN市場への展開を支援しております。現地の規制等の情報収集や市場調査、現地での展示会出展支援、アテンド等様々なサポートが可能です。ご興味をお持ちの方はお気軽にご相談ください。

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau  
担当: 辻 三朗 Saburo Tsuji  
Address: 1 VASU 1 Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,  
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110  
Tel : +66-(0)-2-260-1057  
Mobile : +66-(0)-86-358-7298  
Mail : [tottori@aapth.com](mailto:tottori@aapth.com)

【鳥取県東南アジアビューローの運営法人(鳥取県より業務委託)】

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。

## ワンページタイ経済

項目	単位	2020	2021	2022	2023
GDP 成長率	前年比ベ (%)	-6.2	1.8	3.1	2.0 (9月)
人口*	千人	68,152	68,161	69,906	70,077 (10月)
労働者の数*	千人	39,451	38,631	40,089	40,311 (9月)
失業率**	%	1.62	1.94	1.38	1.03 (9月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	331	331	353	353
チョンブリー		336	336	354	354
アユタヤー		325	325	343	343
ラヨーン		335	335	354	354
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,562	13,506	14,257	14,422 (9月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	-0.84	1.24	6.08	5.45 (4月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	0.50	1.25	2.50 (11月)
普通貯金率**	%	0.31	0.25	0.28	0.40 (12月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.60	5.42	5.50	6.83 (12月)
SET 指数*	1975年：100	1,449.35	1,657.62	1,668.66	1,415.85 (12月)
バーツ/100円**	バーツ	29.33	29.15	26.78	24.82 (12月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.29	31.98	35.06	34.80 (12月)
円/米ドル**	円	106.8	109.8	131.38	144.07 (12月)
車販売台数（1月からの累計）	台数	779,857	736,716	856,057	702,921 (11月)
B0I 認可プロジェクト	件数	1,501	1,572	1,554	1,664 (9月)
B0I 認可プロジェクト金額	10億バーツ	361.41	511.9	618.62	532.59 (9月)

\*期末、\*\*平均